

Q 飼育動物の入手方法と選び方

前回のシンポジウムでかわいいウサギを使った実践が発表になっていましたが、そのウサギを私の学校でも飼って、子どもたちに触れ合わせたいのですが、入手方法をおしえてください。

不登校対策に活用したいと思っています。また、何匹入手すればよいですか？また、この種類のほかにはどんな動物が適切でしょうか？

A

動物を導入するときは、動物が衛生上安心できる動物かどうか、性格はどうかなどの検討をあなたの学校を担当する近くの獣医師と一緒になさり、導入した動物の健康を見てもらうのが一番です。その上で、子どもに触れ合わせるためには、人を見つめる丸い目と毛のある魅力的な動物でおとなしい性格で扱いやすいことが大切です。そのためには、群馬県獣医師会が繁殖させているホーランドロップイヤーという種類のウサギは小さめでおとなしいそうですので、適切かとおもいます。しかし、このウサギは野外での飼育には適していません。ウサギは飼育舎で飼育するというお考えの学校には群馬県獣医師会は送ってくれないようです。そのあたりのご確認をお願いします。

不登校対策のためには、その担当の先生の部屋にペット動物を1匹だけを飼って、子ども興味を向けさせると良いようです。動物は、1匹のほうが人になつきますので、子どもへの効果が大きくなります。ケージの掃除や餌やりを手伝ってもらいと、それを楽しみにすることができましょう。

中には、「世話係り」の任命証を校長先生からもらったことで、1年生が張り切って毎日葉っぱなど動物の好きな餌を少しもって登校し始めた事例もあります。最初はおうちの方が付き添ったようですが、除々に、ひとり立ちして1ヶ月ほどで、まったく問題がなくなったそうです。これは校長室のモルモットの事例です。

モルモットは餌をくれる人を見るとピーピーと鳴いて、よってくるため一層かわいくなり、世話のしがいが大きくなるようです。

この学校では、普段は6年生が入れ替わり立ち代り毎日掃除と世話に来てくれるそうですので、校長先生はちっとも大変ではない、と言ってます。休みも交代で幼稚園児用のバスケット持ち帰ります。

つまりやさしい性格に育てたければ、動物を無人のところに一人にさせないことが大事です。持ち帰りやすい大きさの動物を選びましょう。その点 群馬県獣医師会のウサギもモルモットもちょうど良い大きさだと思います。また子どもへの働きかけは、大きさがあり世話に手間がかかるけれど、抱き心地がよい分、ハムスターよりずっとおおきいでしょう。

以上、飼い方や飼う目的などをご確認の上、それを添えて入手の注文をなさってくださいるようにお願いします。

モルモットやハムスター、一般のウサギなどは 当方に連絡くだされば、健康管理されている動物を持っている実験動物業者を紹介いたします。FAX 0422-53-7099

群馬県獣医師会のホーランドロップイヤーやプチココなどについての連絡先は、以下の通りです。

〒370-0002 群馬県高崎市日高町 965 番
(社) 群馬県獣医師会 学校動物愛護指導委員会 電話 027-361-9241

